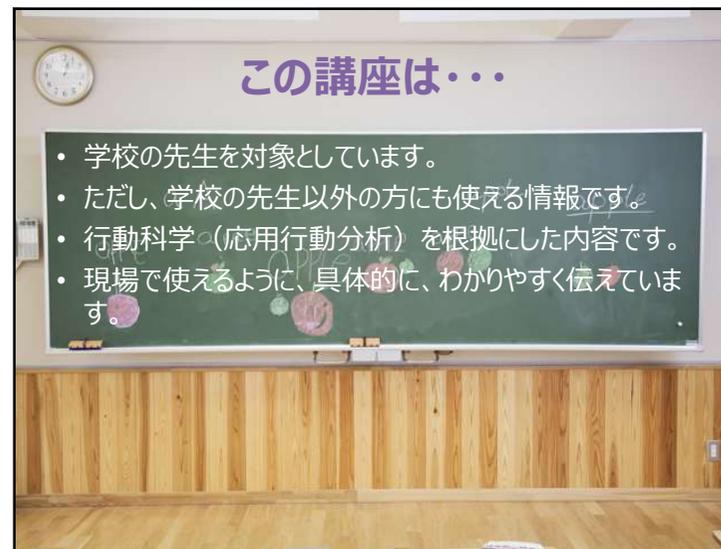




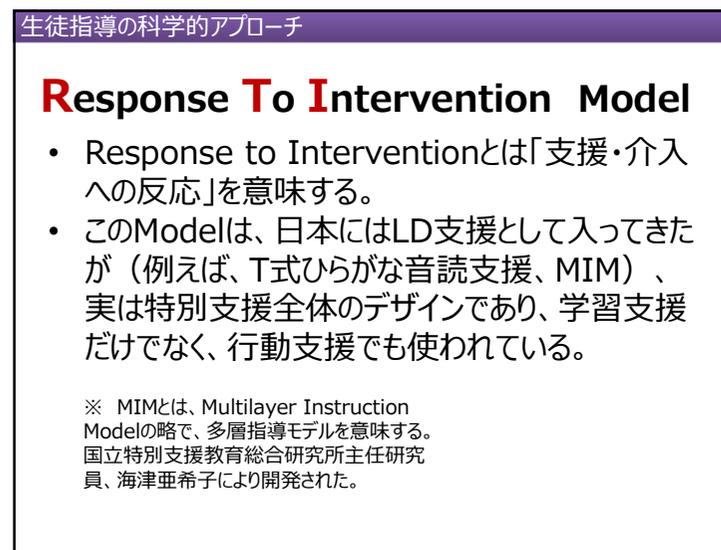
1



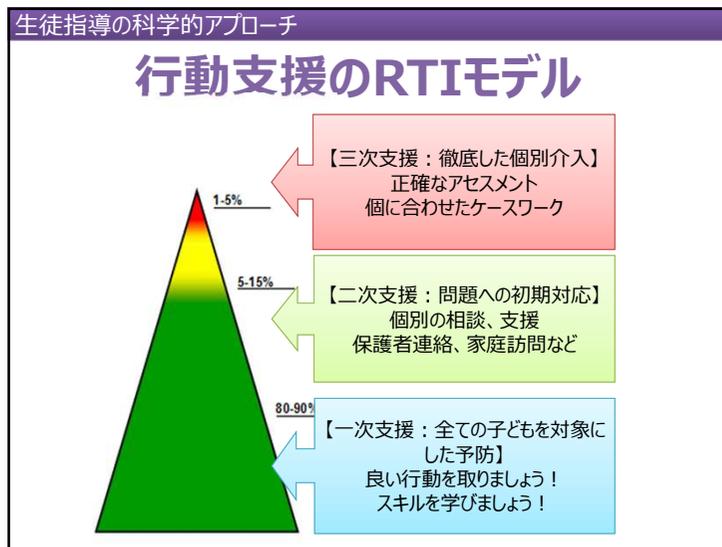
2



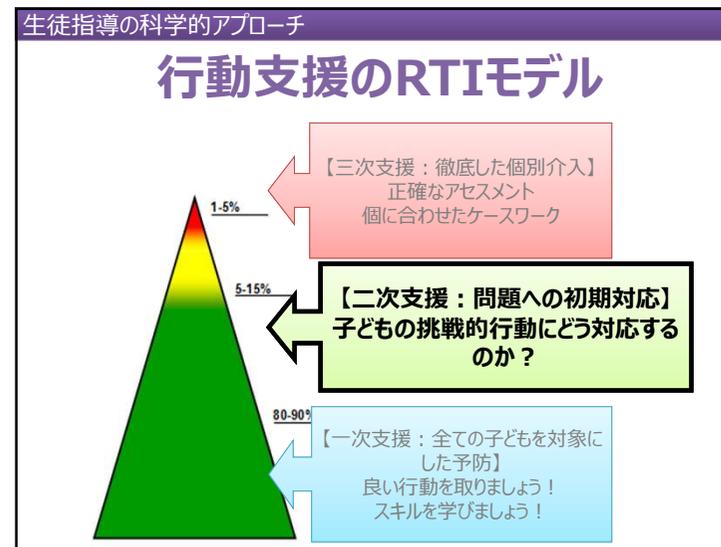
3



4



5



6

生徒指導の科学的アプローチ

### 二次支援の重要性

- 全ての子どもが一次支援だけで十分とはいかない。
- 発達には失敗がつきもの。ただし、その早い段階で失敗を終わらせ、問題を終わらせることが大切である。
- 二次支援が十分でないと、事態はより悪くなる。
- スキルのない支援者のまずい対応で状況が悪くなり、たくさんのリソースを食ってしまうことは避けなければならない。

7

この講座の内容

- RTIモデルにおける二次支援の重要性
- 脳の発達から考える思春期とは
- 挑戦的行動への対応：自覚促進質問
- 挑戦的行動への対応：3分ルール

8

生徒指導の科学的アプローチ

## なぜ子どもは問題を起こすのか？

- 二次支援の具体的方法について考える前に、子どもの脳の発達について考えたい。
- 子どもたちが問題を起こすこと的前提に、脳の発達があり、そこを理解することにより、正しい支援が可能になるから。

9

生徒指導の科学的アプローチ

## 脳の構造

脳幹 → 大脳辺縁系 → 大脳皮質  
(古い脳 → 新しい脳)

大脳皮質 言語、認知、運動、感覚処理、抑制  
Cerebrum

大脳辺縁系 記憶、感情、快楽、興奮、共感・  
Limbic System

間脳 食欲、性欲、睡眠  
Hypothalamus

脳幹 生命維持（呼吸、睡眠、姿勢維持）  
Brainstem

10

生徒指導の科学的アプローチ

## 脳の構造のまとめ

大脳皮質	抑制・認知・言語・運動	新しい脳（ヒトの脳）	ブレーキハンドル
大脳辺縁系	情動・興奮・快楽	古い脳（動物脳）	アクセル
脳幹・中脳	生命維持	古代の脳	

11

生徒指導の科学的アプローチ

## 何のグラフだと思いますか？

Age	Percent of Youths Previously Not Violent
7	0.1
8	0.2
9	0.3
10	0.4
11	0.5
12	1.2
13	1.8
14	3.8
15	4.5
16	5.2
17	3.8
18	2.8
19	1.8
20	1.5
21	1.0
22	0.8
23	0.6
24	0.5
25	0.2
26	0.1
27	0.1

Source: Elliott, 1994. 95% confidence intervals are all less than or equal to ± 1.0%.

それまで暴力的でなかった若者が暴力を振るってしまった率（暴力初犯）

12

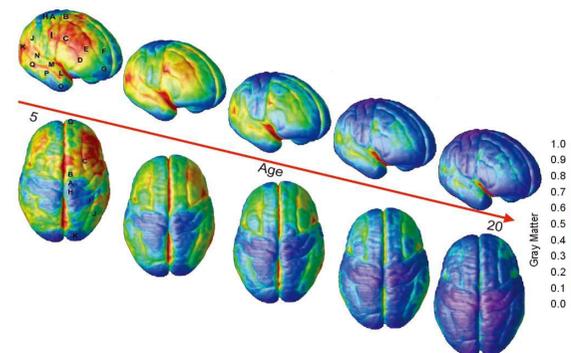
生徒指導の科学的アプローチ

## 思春期の脳の特徴

- 性ホルモンの影響から、大脳辺縁系が先に発達し、それに大脳皮質が追いついてこない状況にある。
- つまりアクセルとブレーキ・ハンドルのバランスが崩れており、アクセルは効きやすいが、ブレーキ・ハンドルが十分でない車になっている。
- しかし時期が過ぎると、大脳皮質の発達が追いついてくる。

13

生徒指導の科学的アプローチ



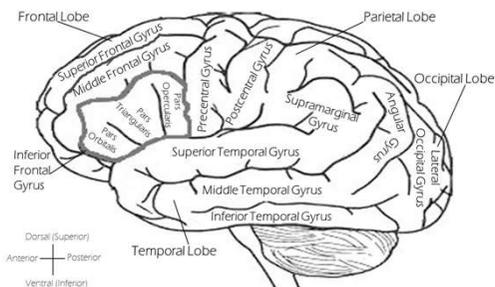
Gogtay et al., Dynamic mapping of human cortical development during childhood through early adulthood. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, 2004

14

生徒指導の科学的アプローチ

## 挑戦的行動

- アクセルの脳である大脳辺縁系が興奮し、それを大脳皮質が制御できない状態にある。
- 大脳皮質の抑制は、言語発達と相関する。

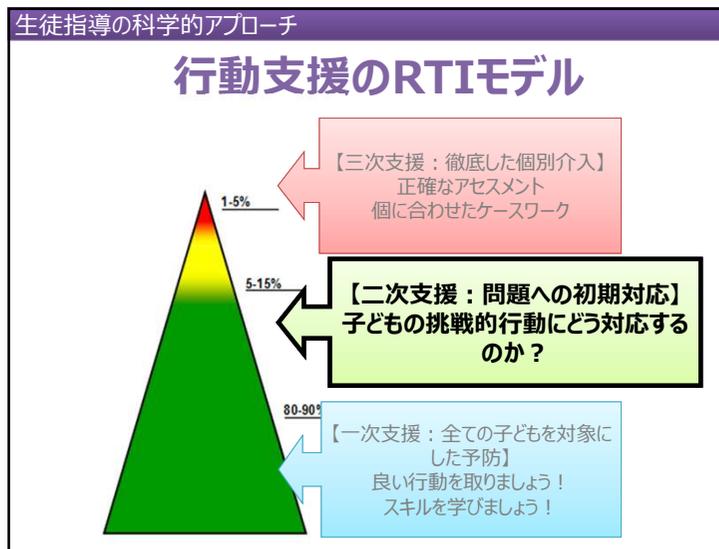


15

## この講座の内容

- RTIモデルにおける二次支援の重要性
- 脳の発達から考える思春期とは
- 挑戦的行動への対応：自覚促進質問
- 挑戦的行動への対応：3分ルール

16



17

生徒指導の科学的アプローチ

## 挑戦的行動への対応

- カウンターを避ける。
- 自ら判断して行動できるようにする。
- そのために、スタッフがいつも同じ対応方法を取る。

18

生徒指導の科学的アプローチ

## 挑戦的行動への対応：ヒント

- **カウンター**を起こさせないように、穏やかに対応する
- **複数**で対応する（必要に応じて、助けを求める）
- 子どもの気持ちを**受け入れた**上で、教員側の考えを伝える
- **対決関係**になりそうだったら、一時、その場を避ける（避け続けることはよくない。仕切り直しをする）
- **ユーモア**を用いる（笑いに変えることで、対決関係を和らげる）
- **体**にアプローチする（例えば、緊張しているので、ストレッチをさせてから話をするなど）

19

生徒指導の科学的アプローチ

## 挑戦的行動への対応：ヒント2

- **長い議論**はしない（まず落ち着かせる）
- 1人の教員が対応しているのは**3分**まで（できれば2分以内で）
- 子どもの行動について情報を収集する（次の指導につなげる）特に必要な情報は、「**子どもの考えの間違い**」「**行動のきっかけ**」「**行動の内容（時間）**」
- 落ち着いたところで、状況を**短く**、わかりやすく説明する
- 子どもの**プライド**に配慮して、どうすべきだったのかを説明し、励ます

20

生徒指導の科学的アプローチ

## 自覚促進質問

- 抑制脳が働くように、「言葉」を使わせる。  
言葉 = 大脳皮質  
言葉 = メタ認知

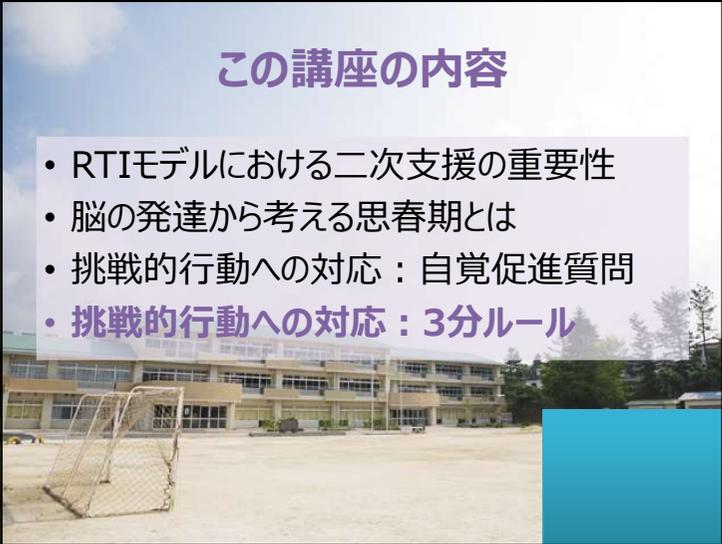
【自覚を促進させる4つの質問】

- 何をしているのか？
- ルールは何か？
- あなたは本当は何がしたかったのか？
- どうすれば良かったと思うか？（他の方法は？）

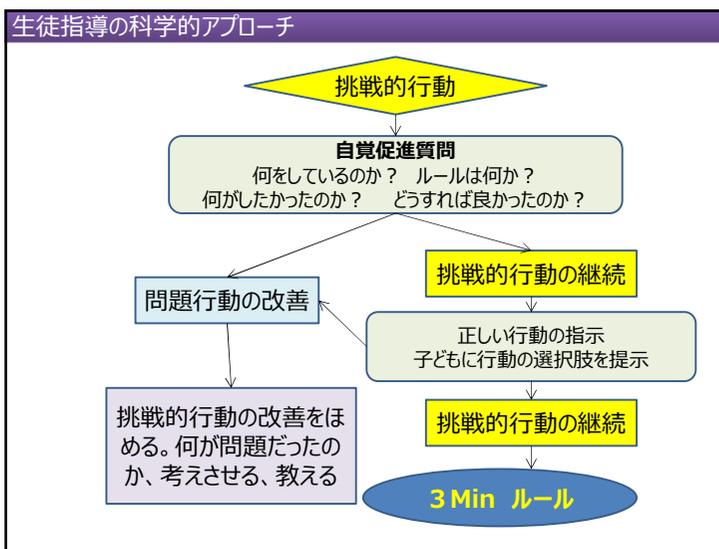
21

## この講座の内容

- RTIモデルにおける二次支援の重要性
- 脳の発達から考える思春期とは
- 挑戦的行動への対応：自覚促進質問
- 挑戦的行動への対応：3分ルール**



22



23

生徒指導の科学的アプローチ

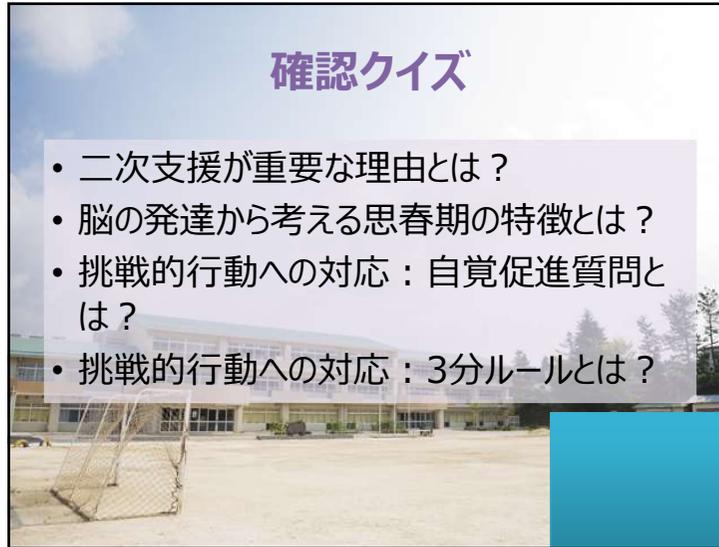
## まとめ

- 二次支援は、子どもの問題を大きくしないためにも質を高める必要がある。
- 二次支援のやり方を明確にすることは、子どもと教師の両方を守る。
- 挑戦的行動は、大脳辺縁系に対し、大脳皮質が十分に発達せず、抑制が効かないことから起こる。
- よって、大脳皮質の抑制脳を働かせるように、『言葉』を使わせることが良い（自覚促進質問）。

24

### 確認クイズ

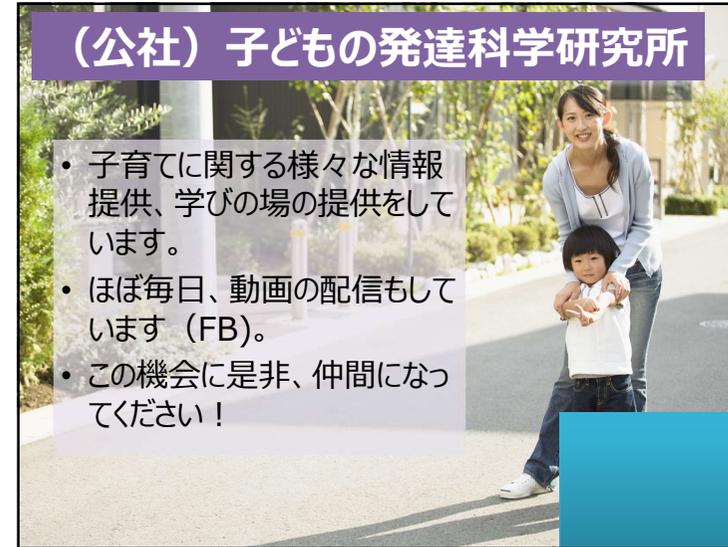
- 二次支援が重要な理由とは？
- 脳の発達から考える思春期の特徴とは？
- 挑戦的行動への対応：自覚促進質問とは？
- 挑戦的行動への対応：3分ルールとは？



25

### (公社) 子どもの発達科学研究所

- 子育てに関する様々な情報提供、学びの場の提供をしています。
- ほぼ毎日、動画の配信もしています (FB)。
- この機会に是非、仲間になってください！



26